

第1回 日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会

学会 1 日目

10.28 土 16:00 ~ 17:00

イブニングセミナー3 《第4会場 会議室1001-2 10F》

歩行再建における下肢装具療法とその施設間連携

※整理券について、イブニングセミナーは整理券はございません。

座長

田島 文博 先生 和歌山県立医科大学リハビリテーション医学教室

演者

長谷 公隆 先生 関西医科大学附属病院リハビリテーション科



長谷 公隆 先生

二次医療圏における地域包括ケアシステムの構築を推進するうえでは、医療関連情報の共有化が必須条件となるが、機能分化した施設／職種間においてチーム医療を提供するためには、それらの情報を統合する手続きが重要になる。特定の事象に関する連携を深めることで「顔の見える関係づくり」の基盤を整え、施設間のネットワークを強固にしていくアプローチは、情報の統合を図る方略として有効である。そのためには、患者を中心とした医療を展開する中で、“生きた情報”を共有できる場を設定することが重要となる。

Gait Judge Cloud(GJC)は、歩行などの身体運動に関わる情報を、動画や表面筋電図を含めてクラウド上で共有するシステムである。当院では、連携している回復期病院と下肢装具療法を中心に、転院前ならびに転院後の情報を共有し、担当者間のみならず、問題となる事象について意見があればGJC 上でいつでも議論に参加できるようにすることで、“生きた情報”を継続的に共有する医療連携を試みている。急性期病院にとっては、回復期病院に転院した患者情報のフィードバックを得る貴重な機会となっている。下肢装具療法においては、治療用と生活用の役割を意識した装具処方を考える必要があり、その展開においてチームが共有するべき情報統合を推し進めるツールとなることが期待される。本講演では、下肢装具療法の施設間連携に関する当院における試みについてご紹介し、問題点や将来展望についての話題提供をさせていただければと思う。

(抄録より抜粋)

Gait Judge Cloud

定量評価をネットワークで紡ぎます



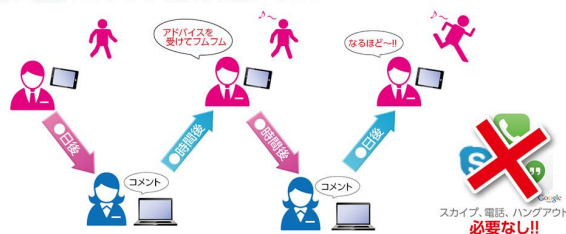
Gait Judge Cloud を利用しなかった場合

同じ時間や場所に集まったりする必要があった ...



Gait Judge Cloud を利用した場合

時間や場所とらわれず意見交換ができる!!



<http://www2.convention.co.jp/jarma01/>

<共催>第1回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会 / パシフィックサプライ株式会社 / 川村義肢株式会社

認定単位

日本整形外科学会

必須分野【12: 膝・足関節・足疾患 / 13: リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む) / Re: 運動器リハビリテーション単位】

日本リハビリテーション医学会 教育研修単位 10 単位(日本専門医機構専門医 1 単位に相当)

※なお、1 単位につき 1,000 円の受講料が必要となります。